

1. 建物概要

建物名称	(仮称) 静岡総合不動産の貸店舗建設	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

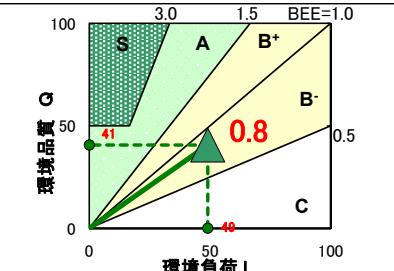
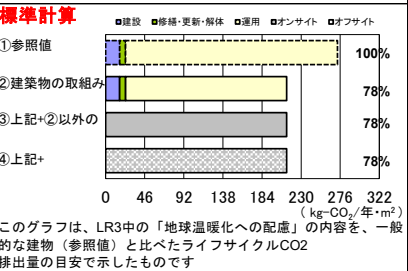
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3 /5	    	ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8 /5	    	がんばろう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 /5	    	ふつつ 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5	    	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.3
	■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④消火配管SGP(C)、排水管VP(B)、冷媒管(C)、Eは不使用。	Q-1 2 2.1 2.1.2 Q-1 3 3.1 3.1.3 3.2 3.2.1 Q-2 2 2.2 2.2.1 2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6	① 外皮性能 ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) 特になし。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫LGS使用している。 ⑬発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率78%。	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.8
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	3.0
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高:3.9m以上。 ⑲⑩[壁長さ比率] < 0.1	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱⑩ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.5
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1 2 3 3.2	㉒ 生物環境の保全と創出 ㉓ まちなみ景観への配慮 ㉔ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) 特になし。	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	㉕ 持続可能な森林から産出された木材 ㉖ 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_通称版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5))

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称) 静岡県総合不動産の貸店舗建設	階数	地上1F	
建設地	静岡県掛川市結縁寺字久野47-1外12筆、上張字神前963-1外12筆、上張字猿田999-1、1013-1の一部外37筆	構造	S造	
用途地域	用途地域の指定のない区域、防火地域指定なし	平均居住人員	120 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年4月 予定	評価の実施日	2026年6月25日	
敷地面積	14,382 m ²	作成者	坂口 博文	
建築面積	5,766 m ²	確認日		
延床面積	5,777 m ²	確認者		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 0.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 			 このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)				
2-4 中項目の評価(バーチャート)			Q のスコア = 2.6	
Q 環境品質			Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.6	
			Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1	
			Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.1	
			LR のスコア = 3.0	
LR 環境負荷低減性			LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.5	
			LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2	
			LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4	
			3 設計上の配慮事項	
総合 これはCASBEE静岡 (2021年版) による評価結果です。			その他 特になし。	
Q1 室内環境 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。			Q2 サービス性能 売場の天井高3.6m以上。 階高:3.9m以上。 [壁長さ比率] <0.1	
Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。			Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。	
LR1 エネルギー 特になし。			LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	
LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率78%。 燃焼機器を使用していない。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。			LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率78%。 燃焼機器を使用していない。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される